

平成29年度

学校関係者評価書

評価対象期間 自：平成29年 4月 1日
至：平成30年 3月31日

平成30年9月13日

中央動物専門学校

学校関係者評価委員会

目 次

1. 目的	2
2. 学校関係者評価	2
3. 評価項目	2
4. 組織	2
(1) 学校関係者評価委員会	2
(2) 任期	2
5. 実施	2
6. 評価要領	3
7. 自己評価概要	3
(1) 自己評価項目	3
(2) 自己評価結果と改善点の概要	5
8. 学校関係者評価結果	7
(1) 会議進行	7
(2) 評価結果	7
9. 総括	8
10. 項目別評価結果	9

1. 目的

学生が質の高い実践的な職業教育を教授できるよう、学校運営の改善と発展を目指すため学校評価（自己評価・学校関係者評価）を実施する。

実践的な職業教育を目的とした、自らの教育活動その他の学校運営について、社会のニーズを踏まえた目指すべき目標を設定し、その達成の適切さ等について評価する。評価結果に基づき、学校として組織的・継続的な改善を図る。

2. 学校関係者評価

卒業生・企業・業界団体等の学校関係者等を選任し、平成29年度の学校業務について、学校自ら行った自己評価の結果について評価を行い、改善に向け専門的な助言を行う。

3. 評価項目

- ・自己評価の内容が適切かどうか
- ・自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか
- ・学校の重点目標や具体的方策等が適切かどうか
- ・学校運営の改善に向けた実際の取り組みが適切かどうか

4. 組織

(1)学校関係者評価委員会

委員：大野 公嗣	全日本動物専門教育協会	専務理事
河野昭一郎	東田端まちづくり協議会	副会長
柿原 正吾	卒業生	
高野須一樹	保護者	
小山田千秋	株式会社スタンダード	取締役
伊澤 伸元	鳥と小動物の病院 falconest	院長
鹿野 正顕	株式会社アニマルライフソリューションズ	代表取締役

(敬称略・順不同)

(2)任期

委員任期を平成29年4月1日～平成31年3月31日とする。

5. 実施

平成30年9月13日（木）中央動物専門学校1915教室において、学校関係者評価委員会が開催された。

6. 評価要領

自己評価書を学校関係者評価委員に事前配布し、確認を得た。学校関係者評価委員会を開催し、自己評価結果について説明をしたうえで、学校関係者としての評価を実施した。

なお、会議の進行及び事務については学校が行い、自己評価結果に対する公正な評価に努めた。

7. 自己評価概要

(1)自己評価項目

自己評価項目は、文部科学省による「専修学校における学校評価のガイドライン」に準拠し、本校の実情に合わせ必要な取捨選択を行った。自己評価の項目は次の通り。

ア. 教育理念・目的・育成人材像

- ①理念・目的・育成人材像は定められているか
- ②学校における職業教育の特色は何か
- ③社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか
- ④理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知がなされているか

イ. 学校運営

- ①目的等に沿った運営方針が策定されているか
- ②学則・細則・内規等は整備されているか
- ③業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか
- ④教育活動に関する情報公開が適切になされているか
- ⑤情報システム化等による業務の効率化が図られているか

ウ. 教育活動

- ①各学科のカリキュラムは体系的に編成されているか
- ②カリキュラムや教育方法の工夫・開発・見直しが適切に行われているか
- ③授業評価の実施体制はあるか
- ④資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか
- ⑤成績評価の基準は明確になっているか
- ⑥教員資質向上のための研修が行われているか

エ. 教育成果

- ①就職率の向上が図られているか
- ②資格取得率の向上が図られているか
- ③退学率の低減が図られているか
- ④卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか
- ⑤卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか

オ. 学生支援

- ①進路・就職に関する支援体制は整備されているか
- ②学生相談に関する体制は整備されているか
- ③学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか
- ④学生の健康管理を担う組織体制はあるか
- ⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか
- ⑥保護者と適切に連携しているか

カ. 教育環境

- ①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
- ②学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか
- ③防災に対する体制は整備されているか

キ. 学生の募集と受け入れ

- ①学生募集活動は、適正に行われているか
- ②学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか
- ③入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき、行われているか
- ④学納金は妥当なものとなっているか

ク. 財務

- ①中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
- ②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
- ③財務について会計監査が適正に行われているか
- ④財務情報公開の体制整備はできているか

ケ. 法令等の遵守

- ①法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
- ②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか
- ③自己評価の実施と問題点の改善に努めているか
- ④自己評価結果を公開しているか

コ. 社会貢献・地域貢献

- ①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか
- ②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
- ③地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか

サ. 国際交流(留学生)

- ①留学生の受け入れについて戦略を持って国際交流を行っているか
- ②留学生の受け入れ、在席管理等において適切な手続き等がとられているか
- ③留学生の学習支援について、適切な体制が整備されているか

(2)自己評価結果と改善点の概要

ア. 教育理念・目的・育成人材像

本校の目的・育成人材像・特色・将来構想と、企業等の人材ビジョンを調和させる連携機会を創出して、最新の実務の知識等を身に付けられるようその見直しを行い、より実践的な職業教育の質の確保に努める。具体的には、学生へは授業及び学校生活を通じて、保護者へは学校説明会や保護者懇談会を通じて、企業等へは合同企業説明会等を通じて、地域社会へは積極的な地域参加と学園祭等への参加を通じて、相互理解を図りながら実践的な職業教育の質向上に努める。

特に、動物美容業界のニーズ及び動向について、今以上に企業や諸団体からの情報を得るべく活動を展開していく。

イ. 学校運営

動物倫理に関する体制確立のため、学内に「動物倫理委員会」を組織化し、動物倫理規定の策定を行い、学内における動物愛護精神の全職員間の統一化、そして推進を図る。

ウ. 教育活動

動物看護教育の資格取得について、現状はカリキュラムの時数以外での補講を設定し資格取得に対応しているが、今後は社会のニーズを鑑みた進級・卒業要件の設定など、時代の流れに併せ、学内の基準の見直し等を継続して検討する。

エ. 教育成果

退学率の低減については、担任・担当だけの面談に加えて、特に問題視される学生の対応については職員全体で多角的にアプローチし、学力的な問題、精神的な問題の相談援助を行う。特に、担任以外にも気軽に相談できる学生相談体制づくりをより強化する。

卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価の把握においては、独立開業を果たした卒業生も増えつつあることを踏まえ、その事業所の評価についても調査を進める等、更に踏み込んだ評価の把握に努める。

卒業後のキャリア形成への効果の掌握については、27年度に実施した「卒業生アンケート」の結果を今後の教育活動の改善へ反映させる。引き続き、今後の継続実施についての検討を図る。また、同窓会組織との更なる連携強化を図り、研修会においては卒業生が参加しやすい日程、内容の調査を実施し、卒業生の動向把握や在校生の就職へと繋がるような企画を展開する。

オ. 学生支援

学生からの相談については、カウンセラーや養護教諭を常駐させることが最も良いが、現状では賃金等のコスト面で雇用が厳しいため、教職員のカウンセリング講習の推進に

よる相談対応スキルの向上を図ることが現状打破の最善の方策と考えられる。また、公的なカウンセリング機関や専門医の紹介など、全職員が迅速な対応ができるよう情報共有化を図り、その対応機関を明記したチラシを学内に設置し、学生が自発的に相談に行くことができる環境づくりを推進する。ただ、精神的な症例への対応は専門家による治療以外ないと考えられ、紹介できる専門医等の教職員間の情報共有をより強化する。

カ. 教育環境

高額獣医療機器の購入については、公的な補助金を有効活用し、学校自体の負担軽減を図りながら、学生の就職先に対応して最新機種と従前の機器を併用した実習を展開する。

防災への対策として、校有動物の対応において、停電時の非常照明やフードの備蓄、飲料水や清掃用の水源確保もできている。ただ、夏季に発生する災害を想定して空調設備が稼動しない場合の飼育動物の退避方法を検討・整備し、更なる万全を期する。

キ. 学生の募集と受け入れ

学生募集活動及び教育成果の伝え方については、従前の本校ホームページや学校案内書に加え、SNSの活用による情報発信の機会増加を図る。また、校内ガイダンスや会場ガイダンスにおいては、タブレットを導入し、学内の最新情報や授業風景を伝え、入学希望者や保護者の本校の教育活動内容の理解度向上を図る。

学生募集イベントの内容に創意工夫を凝らし、見学・来校者の出願率を上げる努力をして、18歳人口減少の中でも動物分野希望者の拡大を図り、更には本校志願者の割合を増加させ、入学定員充足を目指す。

学生募集活動の大幅な見直しにあたって、初の試みとして非出願者に対しての追跡調査を実施したが、その結果を受けて、イベント内容の精査、設置学科の構成等を含む、改善に向けた取り組みに繋げたい。

ク. 財務

中期事業計画の精査と下記を立案する。

- ・学校、学科再編計画
- ・学生募集体制（広報体制）の強化

ケ. 法令等の遵守

ウィルスやハッキング対策においては、最新の情報収集と対策の調査を継続して行い、事例が起きた時には、迅速な対応ができるようにする。

コ. 社会貢献・地域貢献

学生のボランティア活動の奨励・支援として、新たに、地域猫活動、ボランティアトリマー等の情報提示や参加支援の検討を行う。

地域に対する公開講座・教育訓練の受託については、生涯学習の観点からも対象者を広げて、地域のニーズ調査、実施可能な講座の企画・検討を推進していく。

サ. 国際交流(留学生)

動物分野に対する就労査証取得を認めてもらえるべく継続的な働きがけを実施していく。

8. 学校関係者評価結果

(1)会議進行

座長・坂本敏校長から、開会挨拶があり、学校評価概要（自己評価・学校関係者評価）について説明、その後、職業実践専門課程の認定状況の報告をした。

ア. 主査の選任

坂本敏校長から、学校関係者評価の公正さを確保するため、主査選任の説明があり、委員から小山田千秋委員が選出された。

イ. 学校概要の報告

坂本敏校長から、自己評価書をもとに「建学の目的」、「教育方針」、「基本的運営方針」、「具体的方策」「現状の分析（1）学生数、（2）教職員数、（3）学習概況」についての説明があった。

ウ. 自己評価結果の報告と質疑応答

自己評価委員会佐藤洋子委員長（教務部長）より、平成29年度業務における自己評価結果について、各評価項目について説明をし、評価結果を示した。

小山田千秋主査を中心に、自己評価項目にそって質疑応答が行われた。質疑応答の後、評価結果及び意見を「評価シート」に記載した。

(2)評価結果(評価の観点4項目に対する評価)

学校関係者による評価の観点に照らし合わせ、学校関係者評価委員の評価を得た。委員による意見を集約すると次の通り。

ア. 自己評価の内容が適切かどうか

平成29年度の業務について自己評価書に基づき報告を受け、内容を確認した。概ね妥当な評価結果となっており、自己評価の内容はほぼ適切と判断する。

イ. 自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか

ほぼ適切と判断する。

ウ. 学校の重点目標や具体的方策が適切かどうか

平成30年度学校運営計画を確認。基本的運営方針や運営重点項目や運営指針、具体的方策については適切と判断する。

工. 学校運営の改善に向けた実際の取り組みが適切かどうか

全体的には概ね適切と判断する。

9. 総括

平成29年度における学校業務について、自己評価結果の報告を受け、学校関係者としての評価を行った。全般的に妥当な自己評価結果であると判断した。学校関係者評価の観点4項目と照らし合わせても適切な結果であると総括する。

なお、学校関係者評価委員による各評価項目に対する意見記述を、次ページ以降にまとめた。

主なものは次の通り。

- ① 卒業生、在校生の社会的な活躍を学校側が把握しているかどうか課題となる。
- ② (3) 教育活動の3-6においては、評価が3となっているが、教える側が新しい情報を入れ研修するのは当然であることから、評価を4に上げるべく教員の質向上に努めてもらいたい。
- ③ 同窓会と連携し、卒業生の離職率、転職率を1、3、5年後と把握し、今後活用、学生の獲得に繋げていく。
- ④ 校有犬を通して学校で犬の飼育ができる、特にパピイを飼育できるという本校の特色、特化した部分を今以上にアピールしていくと良い。
- ⑤ 動物愛護、動物福祉に関して、教職員全体が統一した見解で学生指導にあたってほしい。
- ⑥ 学科を超えて、それぞれの職員が互いに他の学科への理解をもっと深めるべき。
- ⑦ SNS、インスタグラム等を効果的に活用し、学生募集の成果に繋げていく。
- ⑧ 防災設備に関して、災害備蓄品については、本校は全学生分、全教職員分が確保されている。昨今、自然災害が頻発しているなか、安心安全な環境が確保されている学校であるということをもっとアピールしてはどうか。

以上

10. 項目別評価結果

(1) 教育理念・目的・育成人材像

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
1-1	理念・目的・育成人材像は定められているか	4	3	2	1
1-2	学校における職業教育の特色は何か	4	3	2	1
1-3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	2	1
1-4	理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知がなされているか	4	3	2	1

学校関係者評価結果	適切 ○○○○○○	不適切
-----------	-----------	-----

【自由記述】

・良く対応されている。

(2) 学校運営

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
2-1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1
2-2	学則・細則・内規等は整備されているか	4	3	2	1
2-3	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3	2	1
2-4	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1
2-5	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1

学校関係者評価結果	適切 ○○○○○○	不適切
-----------	-----------	-----

【自由記述】

(3) 教育活動

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
3-1	各学科のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1
3-2	カリキュラムや教育方法の工夫・開発・見直しが適切に行われているか	4	3	2	1
3-3	授業評価の実施体制はあるか	4	3	2	1
3-4	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1
3-5	成績評価の基準は明確になっているか	4	3	2	1
3-6	教員資質向上のための研修が行われているか	4	3	2	1

学校関係者評価結果	適切 ○○○○○○	不適切
-----------	-----------	-----

【自由記述】

・教職員の知識・技術のアップデートが必要。

(4) 教育成果

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
4-1	就職率の向上が図られているか	4	3	2	1
4-2	資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
4-3	退学率の低減が図られているか	4	3	2	1
4-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1
4-5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	3	2	1

学校関係者評価結果	適切 ○○○○○	不適切○
-----------	----------	------

【自由記述】

- ・ 4-3 はとても重要と思われる。
- ・ 4-4 については具体的な取組みをもって実行していただきたい。
- ・ 4-5 卒業後1・3・5年の離職率・転職率（結婚、出産を除く）の把握し、今後の教育に活かしていく。

(5) 学生支援

	評 価 項 目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
5-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
5-2	学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	2	1
5-3	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
5-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	2	1
5-5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
5-6	保護者と適切に連携しているか	4	3	2	1

学校関係者評価結果	適切 ○○○○○○	不適切
-----------	-----------	-----

【自由記述】

(6) 教育環境

	評 価 項 目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
6-1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	<input checked="" type="checkbox"/> 4	3	2	1
6-2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 4	3	2	1
6-3	防災に対する体制は整備されているか	4	<input checked="" type="checkbox"/> 3	2	1

学校関係者評価結果	適切 ○○○○○	不適切 ○
-----------	----------	-------

【自由記述】

- ・ 6 - 3 については災害時の非常食等備蓄について学生募集に活用すべき。

(7) 学生の募集と受け入れ

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
7-1	学生募集活動は、適正に行われているか	4	<input checked="" type="checkbox"/> 3	2	1
7-2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	<input checked="" type="checkbox"/> 3	2	1
7-3	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき、行われているか	<input checked="" type="checkbox"/> 4	3	2	1
7-4	学納金は妥当なものとなっているか	<input checked="" type="checkbox"/> 4	3	2	1

学校関係者評価結果	適切 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	不適切 <input type="checkbox"/>
-----------	--	------------------------------

【自由記述】

- ・ SNS の活用については、中高生に人気の高いインスタグラムをもっと多く発信すべき。
- ・ 7-1 は具体的にどのような活動をしているのか。

(8) 財務

	評 価 項 目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1
8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
8-3	財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
8-4	財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

学校関係者評価結果	適切 ○○○○○○	不適切
-----------	-----------	-----

【自由記述】

(9) 法令等の遵守

	評 価 項 目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
9-1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2	1
9-2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1
9-3	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4	3	2	1
9-4	自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1

学校関係者評価結果	適切 ○○○○○○	不適切
-----------	-----------	-----

【自由記述】

(10) 社会貢献・地域貢献

	評 価 項 目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	2	1
10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	2	1
10-3	地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	4	3	2	1

学校関係者評価結果	適切 ○○○○○○	不適切
-----------	-----------	-----

【自由記述】

(11) 国際交流（留学生）

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
11-1	留学生の受け入れについて戦略を持って行っているか	4	3	2	1
11-2	留学生の受け入れ、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	4	3	2	1
11-3	留学生の学習支援について、適切な体制が整備されているか	4	3	2	1

学校関係者評価結果	適切 ○○○○○○	不適切
-----------	-----------	-----

【自由記述】

- ・留学生受け入れ強化を望む。